



# 2020年3月期 第1四半期 連結決算説明資料

2019年7月31日

証券コード:6737

**EIZO株式会社**

## 注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“Q”および“F”を用いております。2020年3月期第1四半期は“19Q1”、2020年3月期は“19F”となります。

## 市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、一般オフィス、ハイエンド・ホームユース
ヘルスケア (HC)	医用画像、診断用途、手術室用途
クリエイティブワーク (CW)	グラフィックス用途向け 出版・印刷・写真編集、映像制作
V&S (Vertical & Specific)	様々な環境下で使用可能な、多種多様な業種・分野向け 航空管制、船舶、監視、その他産業用途
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 恵比寿(えびす) TEL：076-275-4121

# 1.2020年3月期第1四半期決算

## 2.業績の見通し / 事業上のトピック

## 3.参考資料

# 2020年3月期第1四半期 決算概要

## 減収減益、重点分野は堅調

- アミューズメントの売上高は前年同期比55.7%と低調  
規則改正の影響が継続
- B&P (Business & Plus)は減収、為替影響もあり欧州で弱含み
- 重点分野であるV&S (Vertical & Specific)の販売好調。ヘルスケアは季節要因により低い水準となったものの前年同期比では堅調
  - V&S: 航空管制向けを中心に販売増加
  - ヘルスケア: 手術室向けソリューション販売伸張  
低収益の他社製商品販売事業を前第3四半期に中止した影響により売上高は若干の減収

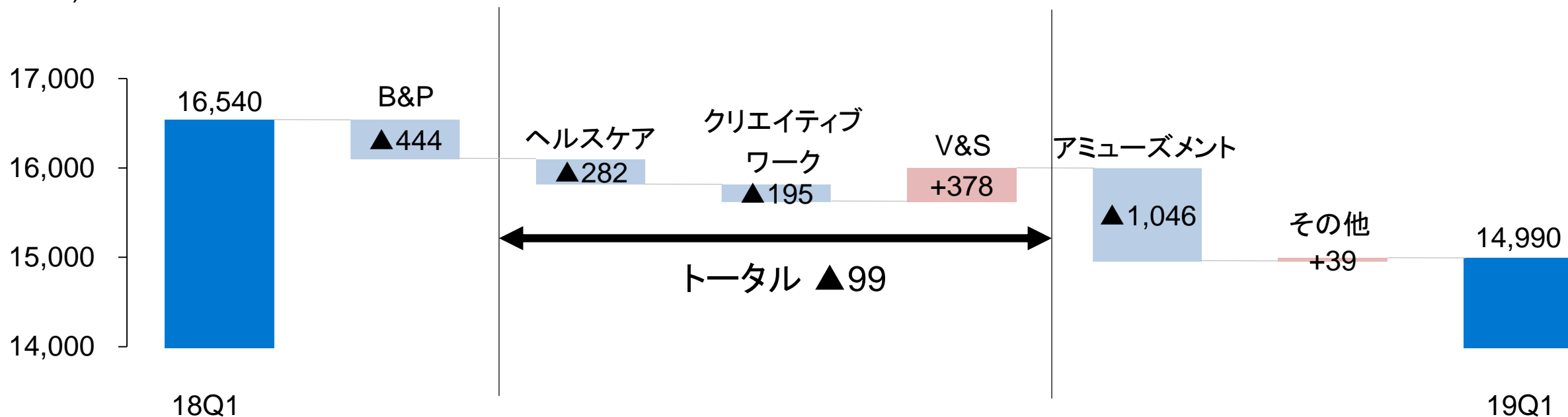
# 連結損益計算書

(百万円)

	18Q1	19Q1	前年同期比
売上高	16,540	14,990	90.6%
売上総利益	5,464	4,618	84.5%
売上総利益率	33.0%	30.8%	▲2.2pt
販売費及び一般管理費	4,709	4,707	100.0%
営業利益	754	▲89	-
営業利益率	4.6%	▲0.6%	▲5.2pt
経常利益	1,046	74	7.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	724	47	6.6%
為替レート:USD	109.10円	109.90円	+0.80円
為替レート:EUR	130.03円	123.50円	▲6.53円

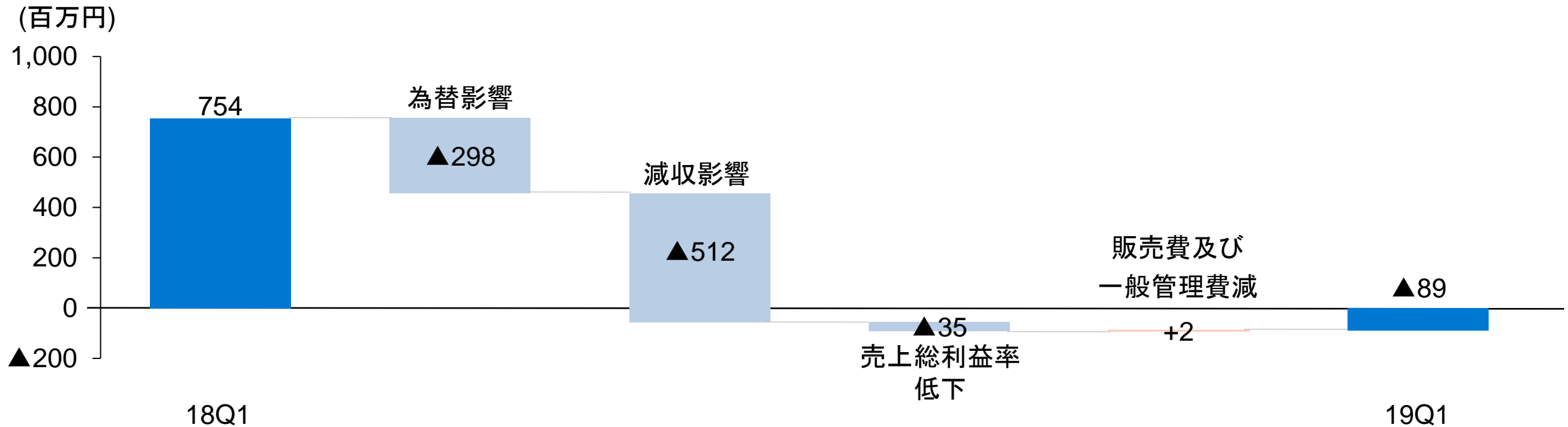
# 売上高増減要因

(百万円)



- B&P: 欧州向けの販売がスローダウン
- ヘルスケア: 国内で手術室向けソリューション好調  
前第3四半期より中止した他社製商品販売の影響により減収
- クリエイティブワーク: エントリー向けモデルの販売減少
- V&S: 航空管制市場向けが北米で好調
- アミューズメント: 新規則機への入替が進まず減収

# 営業利益増減要因



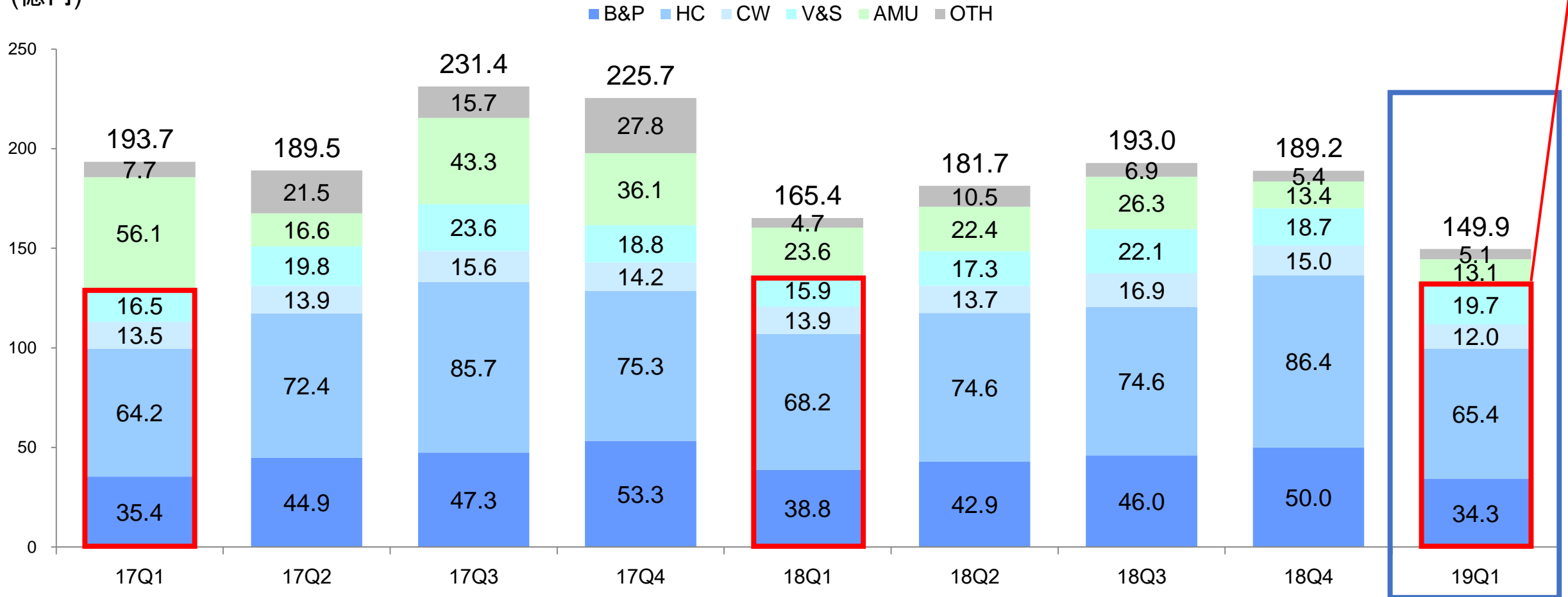
- 為替影響は対ユーロで円高進行による
- 減収影響の主な要因はアミューズメント、B&Pの減収による
- 為替影響を除く売上総利益率は前年同期並み
- 販売費及び一般管理費は手術室向けソリューション事業等の拡大にかかる費用が増加した一方、先行研究開発費は一巡し、前年同期並み

# 市場別売上高推移

B&P/HC/CW/V&S  
トータル  
18Q1比 96.0%

□ 19Q1は季節要因もあり低水準となるが、重点分野であるV&Sは着実に成長

(億円)

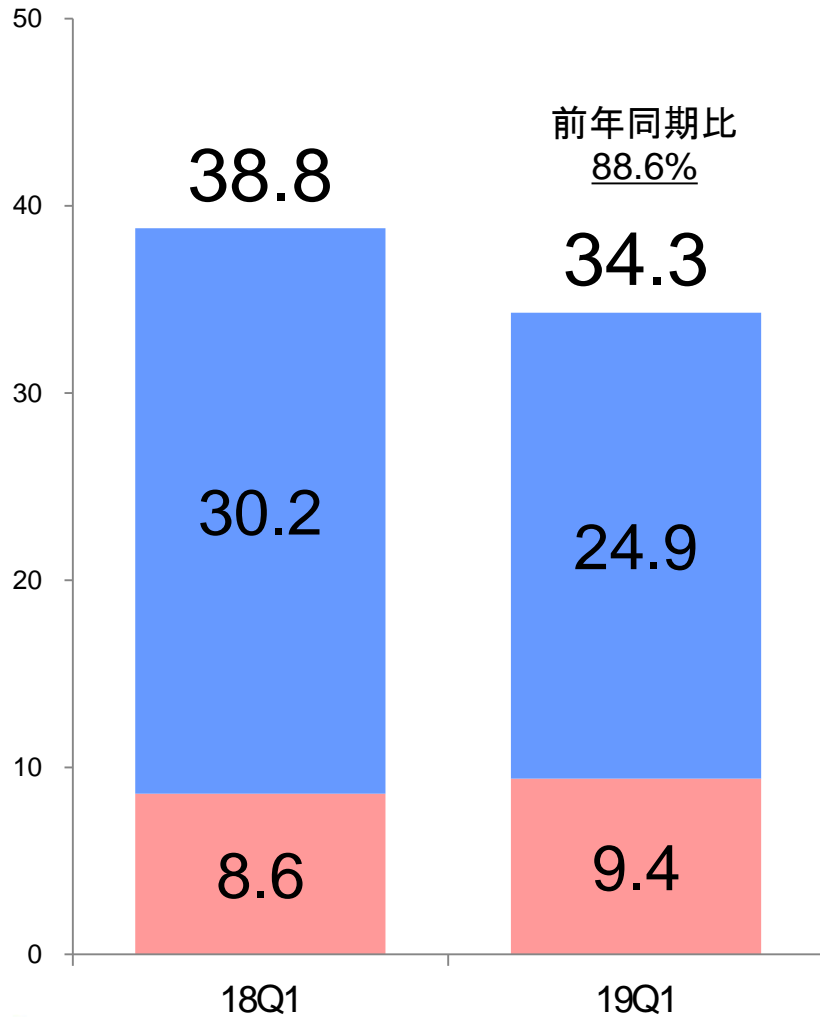




# 市場別売上高：B&P (Business & Plus)

(億円)

■ 国内 ■ 海外



## 海外

□ これまで好調に推移していたドイツを中心に欧州での販売が減少

## 国内

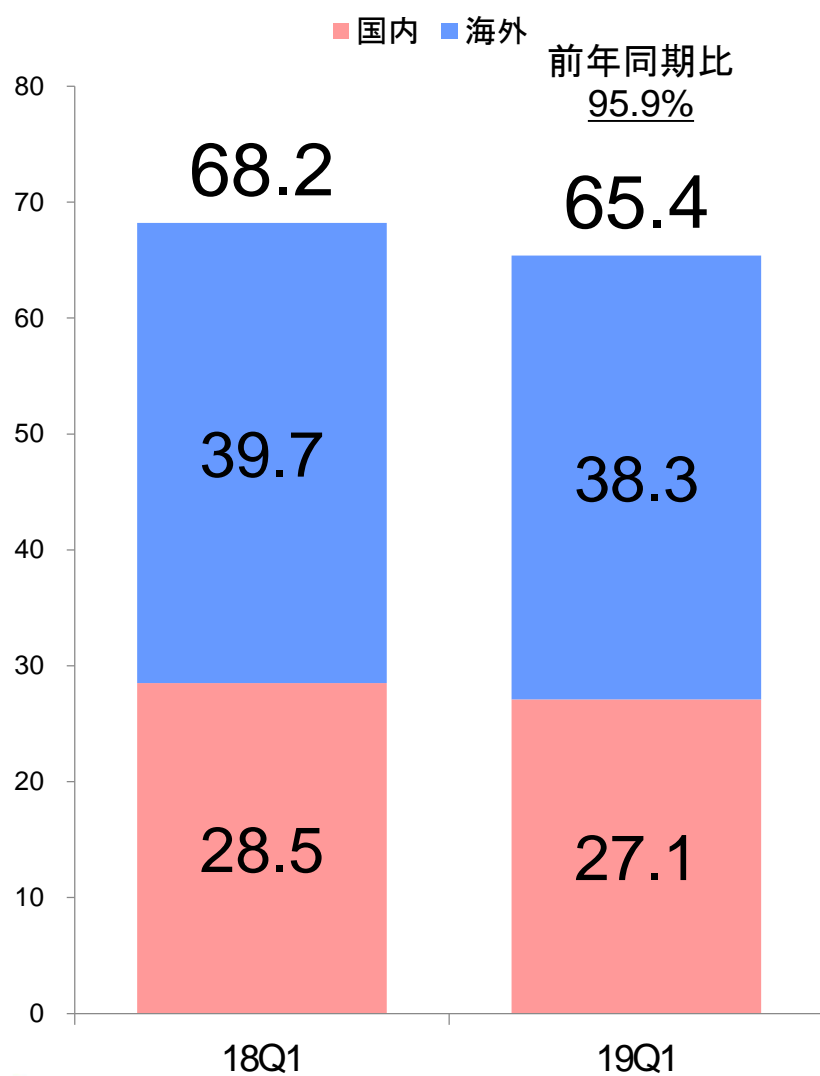
□ ボリュームゾーンである24インチモデルの販売が増加

□ Windows7サポート終了による入替需要や消費税増税前の需要増も取り込む



# 市場別売上高：ヘルスケア

(億円)



## 診断用途

- 当社市場シェアの高い日本、欧州は堅調
- 北米及び中東向け等で好調

## 手術室用途

- カリーナシステム(株)製の映像記録・配信システムソリューションを中心に国内販売伸張



## 内視鏡用途

- 欧州、北米での販売が減少

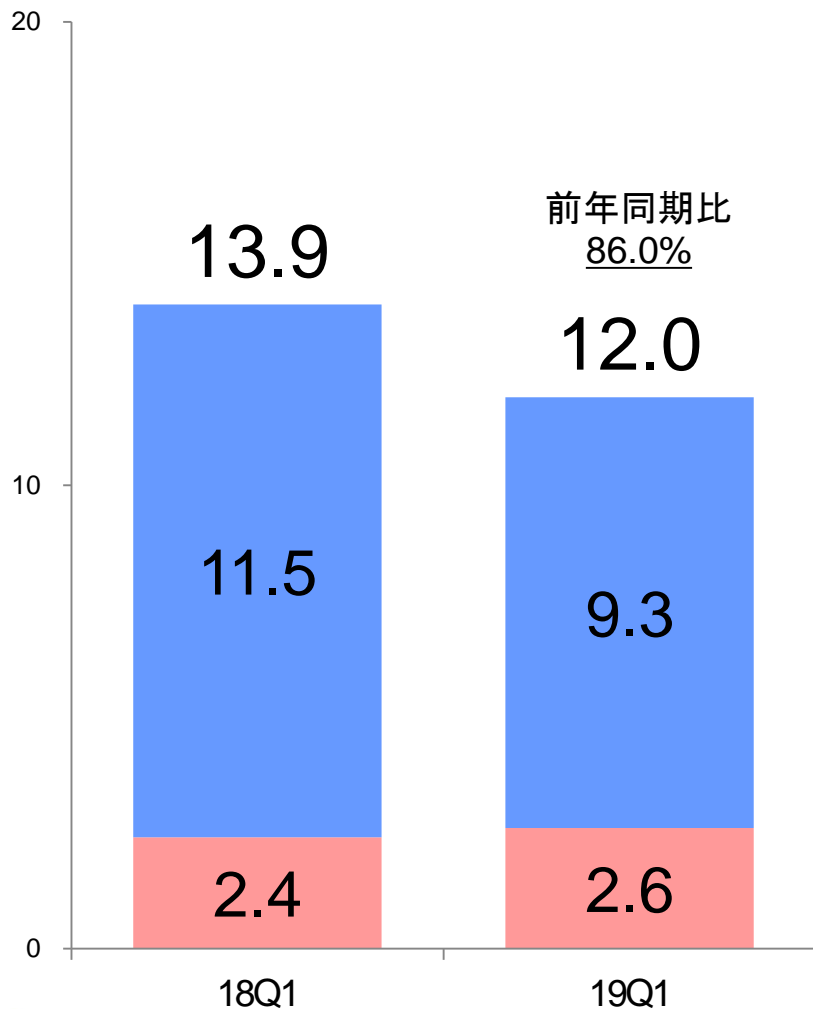
## その他

- 国内営業で扱ってきた収益性の低い他社製商品販売事業を18Q3に中止したため、19Q1の前年同期比較でマイナス要因となる

# 市場別売上高:クリエイティブワーク

(億円)

■ 国内 ■ 海外



## 映像制作分野

□ 4KモニターやHDR対応モニターの販売が引き続き堅調

## 静止画分野

□ 当社市場シェアの高い当分野において  
ハイエンドモニターの販売が堅調

□ エントリー向けモデルの販売が減少



# 市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)

(億円)

■ 国内 ■ 海外



## 航空管制用途

- 北米向けを中心に売上は大きく増加
- Q2以降も好調な販売が継続する見通し



## 船舶用途

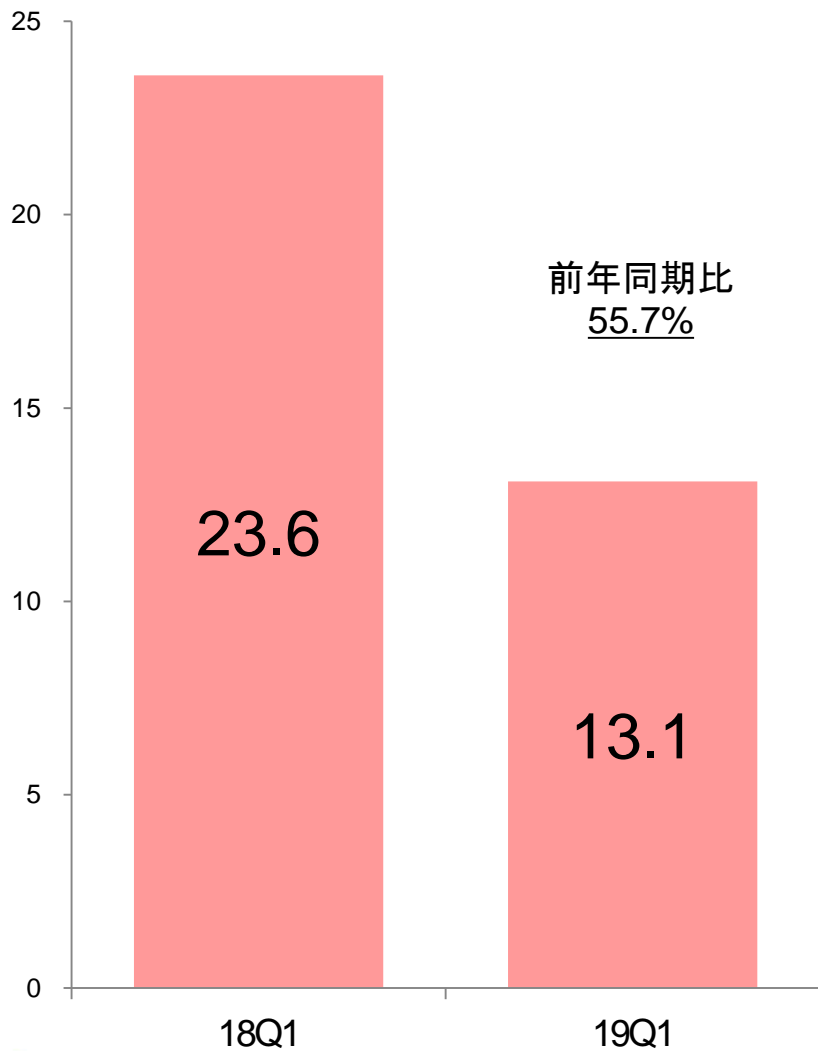
- 国内向けは堅調であったが、新製品効果の高かった前年同期比で減収

## セキュリティ・監視用途

- 様々な使用環境に対応したソリューションにより国内向けの売上が堅調、一方で海外向けは売上減少
  - IPカメラ(\*)に対応したデコーディングBoxの発売を開始し、全世界で拡大するIPベースの監視システムに対応
- (\*)映像信号をネットワークで配信可能なカメラ

# 市場別売上高：アミューズメント

(億円)



- 規則改正の影響が継続
- 市場では新規機種の導入が進まず、売上高減少
- 旧機種機の設置期限である2021年1月までに入替需要を見込む



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

# 連結貸借対照表

(百万円)

	19年3月末	19年6月末	増減額
流動資産	64,167	61,082	▲3,085
現預金	8,399	9,162	+763
売掛金	17,246	13,492	▲3,753
棚卸資産	28,377	30,440	+2,063
有形固定資産	14,321	15,769	+1,448
無形固定資産	3,219	3,059	▲159
投資その他の資産	39,715	36,535	▲3,180
資産合計	121,423	116,445	▲4,977
流動負債	15,673	15,158	▲514
固定負債	10,826	9,951	▲875
純資産	94,924	91,336	▲3,588
負債純資産合計	121,423	116,445	▲4,977

## 棚卸資産

原材料在庫の増加に加え、  
海外で製品在庫が増加

## 有形固定資産

ドイツ及びイギリス子会社の新社屋取得や  
本社新製造ラインの稼動開始により増加

## 投資その他の資産

保有株式の時価評価額下落により減少

1.2020年3月期第1四半期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

# 2020年3月期 業績の見通し

(百万円)

	18F	19F計画	前期比
売上高	72,944	79,000	108.3%
売上総利益	23,755	26,500	111.6%
売上総利益率	32.6%	33.5%	+0.9pt
販売費及び一般管理費	18,385	19,700	107.2%
営業利益	5,370	6,800	126.6%
営業利益率	7.4%	8.6%	+1.2pt
経常利益	5,710	7,400	129.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,308	5,300	123.0%
為替レート:USD	110.93円	112.00円	+1.07円
為替レート:EUR	128.45円	125.00円	▲3.45円
ROA	4.7%	-	-
ROE	4.6%	-	-

2019年5月10日公表値  
から変更なし

- B&P、HC、CW、V&Sは  
例年同様、下期に需要ピーク
- アミューズメントは2019年後半より  
新規則機の入替が進む見通し
- 成長力強化に必要な投資は  
手を緩めずに実行



# トピック①

## ドイツ子会社 EIZO GmbH(\*)の新社屋完成 (2019年6月操業開始)

(\*) ヘルスケア向け映像ソリューション、主に手術室向けを中心とした製品の開発、生産、販売を行う

### □ 管理、開発、生産部門及び倉庫を1か所に集約

-業務連携をスムーズにし、品質、生産性を向上

### □ ヘルスケア市場向け事業の 一層の拡大を目指す



# トピック②

## 本社工場棟にモニター生産ラインを増設 (2019年6月稼働開始)

- 今後のヘルスケア、クリエイティブワーク、V&Sの需要増に対応
- 多品種少量生産が多い特定分野向けの生産に柔軟に対応
- IoT、AI技術を用い生産性を大幅に向上



1.2020年3月期第1四半期決算

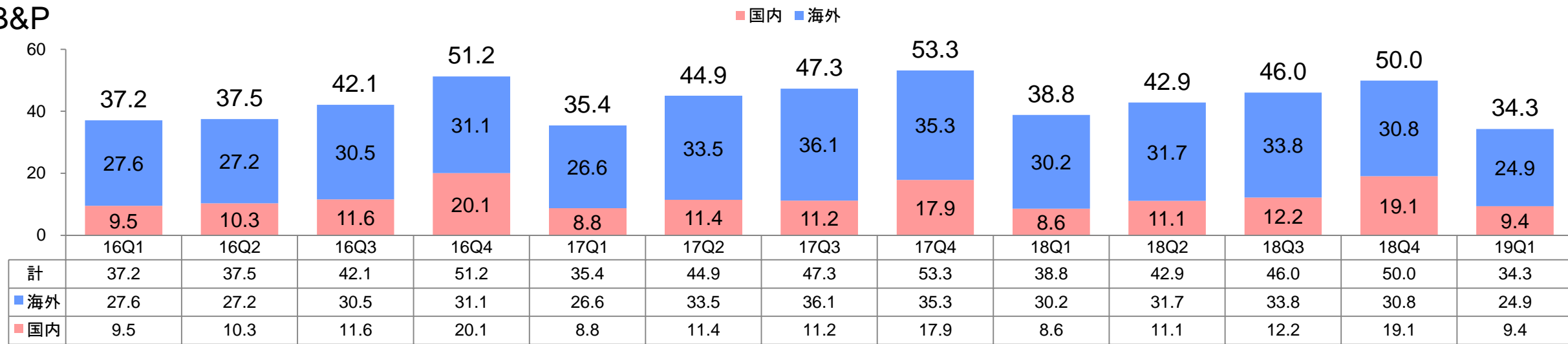
2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

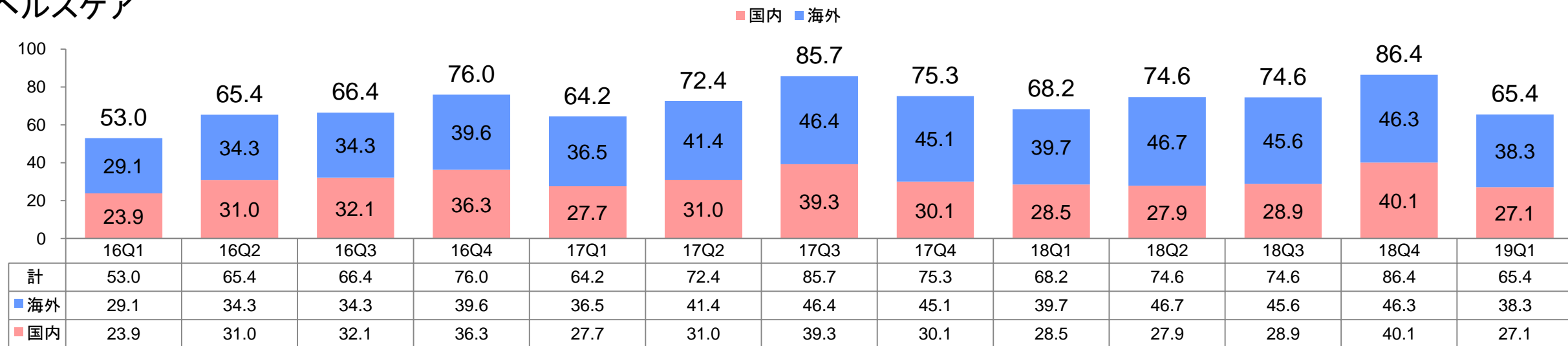
# 市場別売上高推移 B&P/ヘルスケア

(億円)

B&P



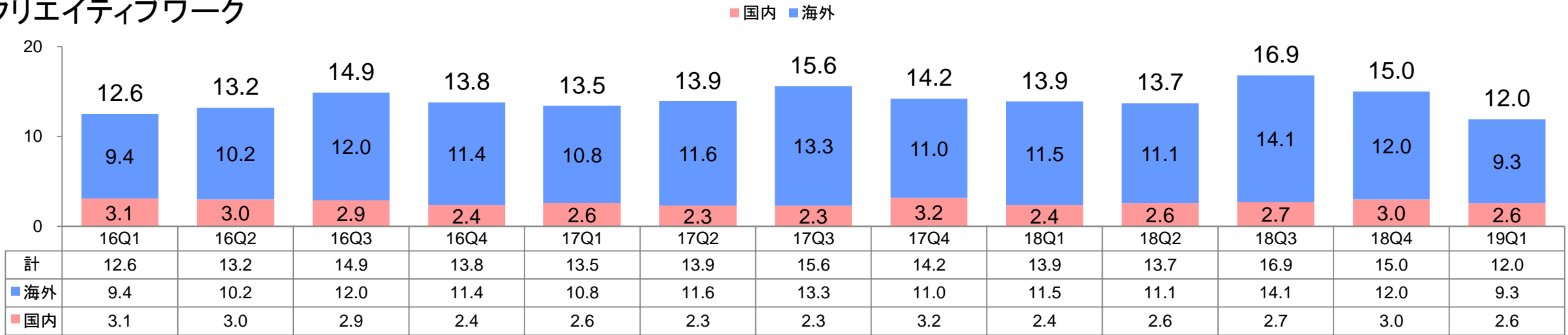
ヘルスケア



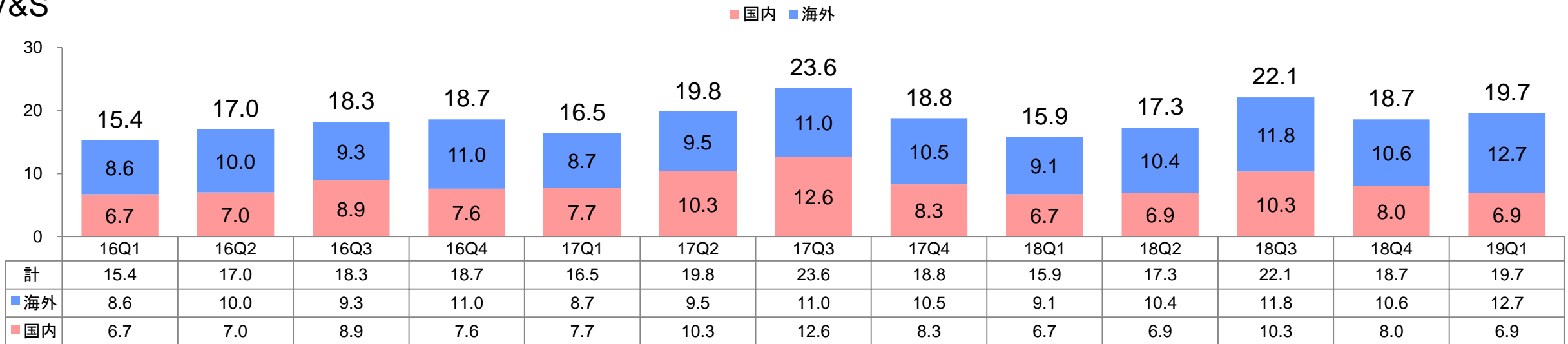
# 市場別売上高推移 クリエイティブワーク/V&S

(億円)

## クリエイティブワーク



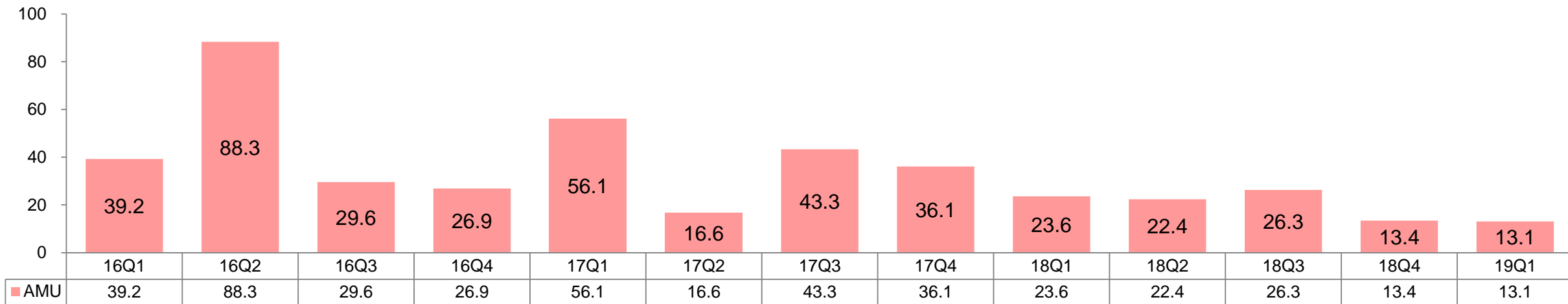
## V&S



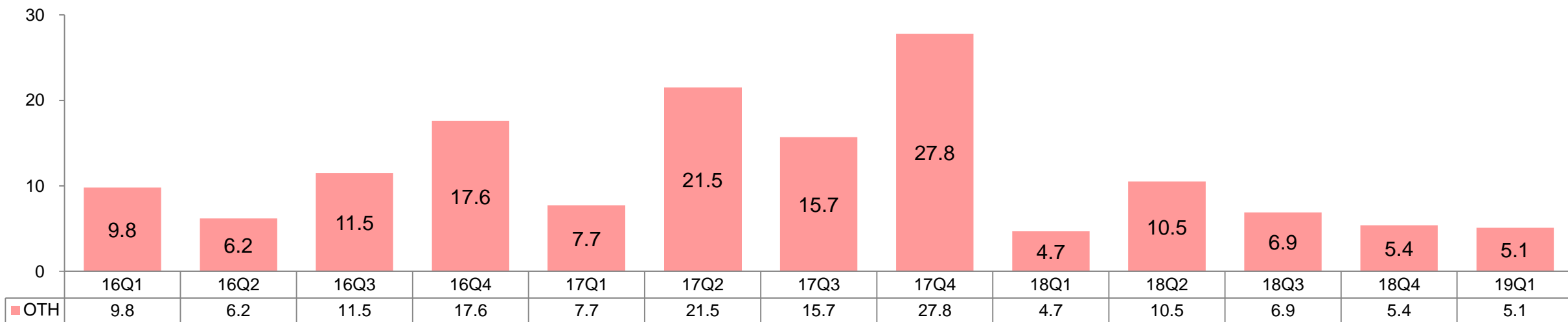
# 市場別売上高推移 アミューズメント/その他

(億円)

## アミューズメント

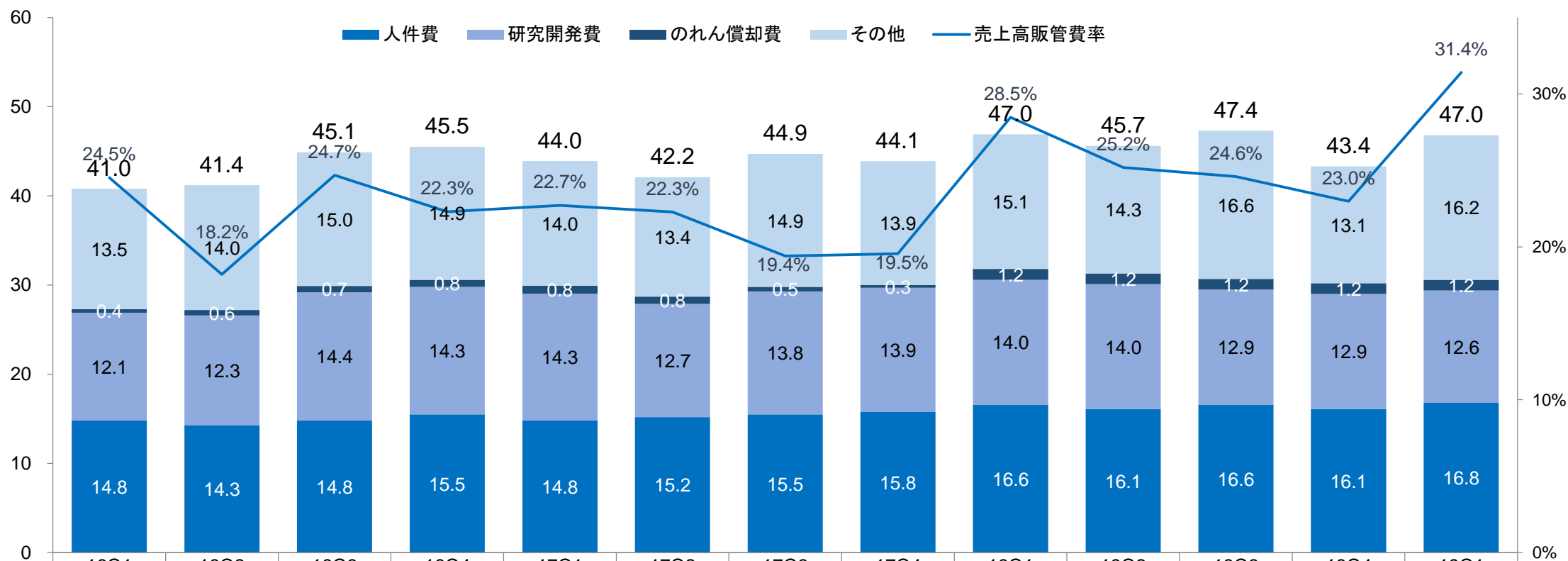


## その他



(億円)

# 販売費及び一般管理費推移



	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4	19Q1
計	41.0	41.4	45.1	45.5	44.0	42.2	44.9	44.1	47.0	45.7	47.4	43.4	47.0
その他	13.5	14.0	15.0	14.9	14.0	13.4	14.9	13.9	15.1	14.3	16.6	13.1	16.2
のれん償却費	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.5	0.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
研究開発費	12.1	12.3	14.4	14.3	14.3	12.7	13.8	13.9	14.0	14.0	12.9	12.9	12.6
人件費	14.8	14.3	14.8	15.5	14.8	15.2	15.5	15.8	16.6	16.1	16.6	16.1	16.8
売上高販管費率	24.5%	18.2%	24.7%	22.3%	22.7%	22.3%	19.4%	19.5%	28.5%	25.2%	24.6%	23.0%	31.4%



Visit us online  
[www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp)